

ポータルサイト コープみえ「メッセージカードをカレンダーにしてお届けします」

コープみえでは、3月19日～4月13日、組合員・職員に呼び掛け、福島に贈る“応援メッセージカード”を集める取り組みを行ないました。集まったのは、色とりどりの手作りカード238枚です。4月27日には、卓上カレンダーに仕立てるため、カレンダーに使用する14枚のカードを選ぶ選考会が行なわれました。その他のカードはすべてパネルに貼って、コープふくしまに贈ります。6月下旬に、福島で贈呈式を行なう予定です。



カレンダー用のイラスト選考の様子。

ポータルサイト 八戸東洋(株)「ビデオレターに感激しました」

「CO・OPたまごスープ」などのフリーズドライスープを製造している八戸東洋(株)のある青森県八戸市では、震災直後は9,000人以上の避難者が出て、69カ所の避難所が設置されました。八戸東洋(株)はライフラインの復旧に時間がかかりましたが、高台に位置しているため設備の被害はありませんでした。

「復旧に取り組む中で、昨年2月に工場見学に来ていただいた組合員さんからビデオレターをいただき、温かい言葉に感激しました。また、復興応援の取り組みを全国の生協さんに実施いただき、フル生産となっています。これからも、従業員一丸となって製造してまいります」との決意が語られました。



八戸東洋(株)の皆さん。

「伝えたい被災地」

このコーナーでは、ライター荒川和巳さんが被災地に入り、見たもの、感じたものをお伝えしていきます。

震災から既に1年と数カ月。何度も現地取材に行き、いろんなお話を伺ってまいりました。「生協のおかげで本当に助かってるわ」「人の温かさを感じるが増えたよ」などの声が多い一方で、「記事にはしづらいなあ」と思わず自主規制してしまう微妙なお話も多いのも事実です。読んでいてほっとできる記事がメインの『つながろう CO・OP アクション情報』ではございますが、1年以上たっていることですし、あえてほっとできないお話も書かせていただこうか、ということになりました。

たとえば、こんなお話。先日、とある生協のお店で「もう頑張るの疲れたよう」とベソをかいている男の子に、ママが「辛い時は泣いていいんだよ」と手をつないであげていました(ちなみにご本人は「抱っこ希望」でしたが)。これ自体はいい話なんですけど、私たちがほとんど無意識に言う「頑張ろう」が、小さな子にまで負担を強いているのかも、とあらためて考えてしまいました。だから、「つながろう」ってホントにいい言葉だなとしみじみ思います。とか、そんな感じでいろいろつづってまいりたいと思います。試行錯誤しながらのスタートでございます。よろしくお願ひ申し上げます。



宮城県某所。日だまりでのんびり過ごす。
※写真と本文は関係ありません。